

まちづくり 問 都市整備課 ☎ 45-8128 FAX 43-2945

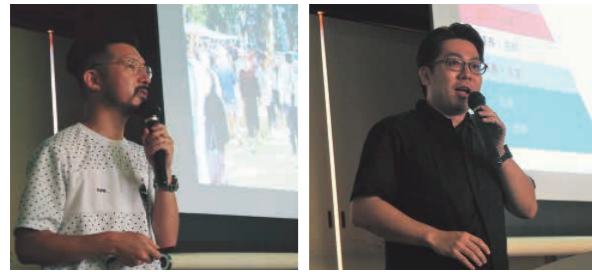
## 下妻デザインミーティング2021vol.1 を開催

7月17日、八幡屋(市内長塚)で「下妻デザインミーティング2021」vol.1が開催されました。

ゲストは、公民が連携し、仙台市の中心部の既存施設を活用したまちづくりの取り組み「せんだいリノベーションまちづくり」を推進した本郷紘一氏と洞口文人氏の2人で、市民や事業者など82人が参加しました。

昨年度全4回実施した「下妻デザインミーティング」では、下妻市公民連携まちづくり構想砂沼戦略を策定しました。この戦略をもとに、今年度は、現在下妻市に足りないものは何かを掘り下げ、新しい下妻ライフの実現に向けた取り組みを行っていきます。

ゲストの講演のほかに、行政から、公民連携で砂沼戦略を推進する取り組みについての報告、民間から新しいまちづくりを推進するための民間実行体制の提案、既に始まっているプロジェクト(砂沼の湖面活用、公園活用)の進捗報告がありました。



左上：本郷氏 右上：洞口氏  
下：講師の話を聴く参加者

交通安全 問 消防交通課 ☎ 43-8309 FAX 43-4214

## 夏の交通事故防止県民運動 街頭啓発活動を実施

7月20日、午前7時30分から、本宿交差点でドライバーに飲酒運転の撲滅や安全運転などを呼びかけました。当日は下妻警察署の協力のもと、市内交通団体などから約30人が参加しました。

この街頭啓発活動は、7月20日から31日までの12日間、夏の交通事故防止県民運動が実施されることに合わせて行われたものです。参加者は、のぼり旗やハンドプレートなどを持って通勤中のドライバーなどに交通安全を呼びかけました。



啓発活動中の参加者

防災 問 消防交通課 ☎ 43-2119 FAX 43-4214

## 令和3年度下妻市消防団 新入団員基礎講座を開催

7月4日、Waiwaiドームしもつまで下妻市消防団新入団員基礎講座が開催され、新入団員33人が参加しました。

新型コロナウイルスの影響で、訓練の中止や活動の縮小を余儀なくされていたところですが、迅速な災害対応を可能とするため、今回、災害対応の知識習得を目的とした講座を開催しました。

下妻市消防団の高橋周一団長は、「得られた知識を今後の災害現場での活動に活かしてほしい」と話しました。



講座を受講中の新入団員

有料広告欄

環境アクションプラン 問 生活環境課 ☎ 43-8234 FAX 44-7833

## 砂沼環境連絡協議会が設立

7月1日、砂沼環境連絡協議会の設立総会が開催され、事業計画などの議案について協議されました。会員は、市民や学識経験者などから選ばれた11人です。

この協議会は下妻市環境基本計画に基づき策定された下妻市環境アクションプランを推進し、「ありがたい未来の砂沼の実現」に向けて、砂沼の水質向上と自然環境の保全を図ることを目的として設立したものです。



協議会設立に当たり、あいさつをする内山会長

砂沼環境連絡協議会設立検討会の会長であり、今回会長に互選された内山二三男さんは「これから砂沼をどうしたらいいか悩んでいたところ、こういった会ができるのは嬉しいです。自分もできる限り頑張っていきたいです」と話しました。

今後、協議会では、砂沼の水質向上と自然環境の保全に関する調査及び研究をはじめとする事業を推進し、砂沼が抱える問題の解決に向けて活動していきます。

担い手の育成 問 農政課 ☎ 44-0729 FAX 43-3239

## 新たな青年農業士を紹介します

茨城県は、地域農業の振興のため、優れた農業者や将来の地域農業の担い手となる農業者を農業三士(農業経営士・女性農業士・青年農業士)として認定しています。

令和3年度の認定式が7月15日、水戸市のザ・ヒロサワ・シティ会館で行われ、本橋祐太さん(桐ヶ瀬地区)が青年農業士として新たに認定されました。

梨、水稻、麦などを栽培している本橋さんは、「農業経営を充実させ、市の農業を引っ張っていく農業経営者になれるようにこれからも頑張っていきたいです」と話していました。



青年農業士の認定を受けた本橋さん

人権啓発 問 福祉課 ☎ 43-8246 FAX 43-6750

## 「社会を明るくする運動」 街頭キャンペーンを実施

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が犯罪や非行の防止と立ち直りに関して考え、犯罪や非行のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。

毎年7月は強調月間となっており、7月13日、「道の駅しもつま」で、下妻市保護司会および下妻市更生保護女性会14名が参加し、利用者ヘリーフレットなどを配布し啓発活動を行いました。

また、市内3中学校では挨拶運動を行うなどし、生徒に「社会を明るくする運動」と更生保護の取り組みに対する理解と協力を呼びかけました。



道の駅しもつまで啓発活動中の下妻市更生保護女性会会員

有料広告欄